

[成果情報名]新たに選定された優良乳用供卵牛

[要約] 2021年度に新たに遺伝的能力評価値の得られた14頭のうち9頭が新たな優良乳用供卵牛として選定され、供卵牛として利用する。

[担当] 山梨県畜産酪農技術センター・乳肉用牛科・望月 香甫

[分類] 技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

アメリカから導入した高能力牛および輸入受精卵産子由来の娘牛等について能力検定等を行い、その遺伝的能力評価に基づいて供卵牛の選抜を行い、優良乳用供卵牛選定の基礎資料とする。

[成果の内容・特徴]

1. 2021年度に新たに能力評価された供卵候補牛14頭のうち選定基準（総合指数、産乳成分および耐久性成分のいずれかが全国上位25%以内のもの：山梨県受精卵移植推進協議会規定）に合致する9頭を優良乳用供卵牛として選抜し、所定の手続きにより優良乳用供卵牛に選定された（表1）。
2. 総合指数が全国上位25%以内の選定牛の特徴（9頭の選定牛から4頭を抜粋：表2）

○H342 は総合指数+1814(全国上位 2%)、産乳成分+1618(全国上位 3%)、耐久性成分+180(全国上位 20%)で産乳能力は乳量および乳成分に優れ、乳代効果も高い。体型形質は肢蹄および乳器に優れる。

○H343 は総合指数+850(全国上位 23%)、産乳成分+793(全国上位 24%)で、産乳能力は乳脂率に優れる。体型形質は尻角度に改善の余地が見られる以外は全ての審査区分で得点が高い。

○H744 は総合指数+812(全国上位 24%)、産乳成分+945(全国上位 17%)で、産乳能力は乳量に優れ、乳代効果が高い。体型形質は乳用強健性、乳器に優れている。

○H746 は総合指数+1198(全国上位 11%)、産乳成分+1097(全国上位 12%)で、産乳能力は乳量に優れ、乳代効果が高い。体型形質は全ての審査区分において優れる。

[成果の活用上の留意点]

これらの優良乳用供卵牛から生産される受精卵の採卵予定、交配種雄牛、在庫状況等については常に変動しているため、詳細は畜産酪農技術センター長坂支所まで問い合わせる。

[期待される効果]

1. 選定された9頭を加え、センターで繋養する優良乳用供卵牛は24頭となる。これらの供卵牛それぞれの特性をふまえ、次世代においてより良い改良が期待できる種雄牛を選択することで、改良効果の高い受精卵を生産できる。
2. 生産された遺伝的能力の高い受精卵の活用により、県内酪農家牛群の改良が図られる。

〔具体的データ〕

表1. 選定牛の概要

牛No.	名号	生年月日	分娩月日
H342	ロングヒル モーグル レオ ガニメデ	H30.2.18	R2.3.16
H343	ロングヒル スーダン フィーバー カラ	H30.2.27	R2.2.22
H344	ロングヒル マツカチエン ローソリテイ フェザー	H30.4.27	R2.4.6
H345	ロングヒル アツトウツド ボルトン プリマローズ ET	H30.7.19	R2.9.19
H350	ロングヒル キングボーイ フレデイ サンゴ	H30.11.14	R2.7.20
H743	ノースフォレスト マツカチエン ウインドブルツク マロン	H29.6.23	R1.12.21
H744	ノースフォレスト スーダン プラネット ジェーン	H29.7.26	R1.11.15
H745	ノースフォレスト モーグル プラネット スノー	H30.2.16	R2.7.22
H746	ノースフォレスト メイフラワー マセラテイ グレイシャー	H30.9.8	R2.8.20

表2. 総合指数が全国上位 25%以内の選定牛の初産成績概要と遺伝的能力評価値

牛No.	遺伝的能力評価(2021-08)								
	総合指数 (%) 順位	各成分(%順位)			EBV				乳代効果 (円)
		産乳成分	耐久性成分	疾病繁殖成分	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	
H342	+1814 (2)	+1618 (3)	+180 (20)	+16 (50)	+648	+0.27	+0.06	+0.07	+82,124
H343	+850 (23)	+793 (24)	+97 (35)	-40 (76)	+203	+0.21	+0.05	+0.04	+31,215
H744	+812 (24)	+945 (17)	-34 (66)	-99 (93)	+668	+0.02	-0.05	-0.08	+67,681
H746	+1198 (11)	+1097 (12)	+50 (46)	+51 (33)	+583	+0.04	+0.03	+0.07	+65,758

牛No.	検定成績(305日補正)				体型得点(初産時)				
	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	体貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点
H342	8,853	4.4	3.6	9.1	79	83	78	82	81
H343	8,084	4.4	3.6	9.0	80	83	82	82	82
H744	8,855	4.4	3.3	8.8	81	80	82	82	81
H746	10,254	4.3	3.6	9.2	81	82	81	81	81

〔その他〕

研究課題名：優良乳用供卵牛選抜事業

予算区分：県単

研究期間：1993 年度～

研究担当者：望月香甫、三嶋溪太、田村洋次、神藤 学